授業づくり研修講座　実践レポート

　　　　座間中　　　　学校　　氏名　田中　悦子

単元名　　第　２　学年　　「　推論と対話で考えを広げる　主張文　　」

実践のポイント（工夫）

・題材の選択の際に、自分の問題として考えられるよう、「災害時にペットを避難所にいれるべきか」というテーマを与えた。また、下書きの段階で色の違う付箋を使って、自分の意見のポイントを書かせた。また、グループやクラス内で自分の意見をシェアすることで、主張をもたせた。

実践内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 「推論と対話で考えを広げる」は、「意見文を描く」ことを目標とした教材である。複数の選択肢を持つ課題に対して、対話と推論によって考えを広げたり深めたりして、確かな考えを形成することがねらいとされている。視覚に訴えることで、課題に対する意見を持ちやすくし、自分の推論をもとに他者と対話することによって、考えを深めさせたいと考えた。また、確固たる自分の意見を形成できたところで初めて意見文を書くことにつながると考え、書くまでの過程を大事にしたいと考えた。  　単元目標  ○自分の立場や考えとともに、それを支える事実や事柄を明らかにして、文章の構成を工夫する。  ○書いた文章を読み合い、互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げる。  　単元(題材)の指導・評価計画（５時間扱い）   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 時 | ねらい | 学習活動 |  | 【評価規準】（評価方法） | | １  ２  ３  ４  ５ | ・学習目標と学習の流れを確認し学習の見通しを持たせる。  ・スライドを見たり記事を読むことで、自分の問題として意識を持たせ、自分の考えを持たせる。  ・対話によって考えを広げる。  ・主張文の書き方について学ぶことで文章構成の工夫につなげる。  ・主張文の書き方を踏まえて、文章を書かせる。  ・主張文を読み合うことで、互いの主張や表現の仕方から学ぶ。 | ・スライドを見て、記事について興味を持つ。  ・記事を読み、自分の考えを持つ。  ・プリントに初発の感想、考えを記入する。  ・対話によって考えを広げる。  ・主張文の書き方について学ぶ。  ・自分の考えを基に主張文を書く。  ・主張文を読み合う。  ・今後の作品に生かせる点を確認する。 | ・推論と対話で考えを広げようとしている。  ・課題について、自分の立場や意見とその根拠を、２～３文程度でまとめている。  ・主張を支える事実や事柄を明らかにして、文章を構成している。  ・自分の立場や意見とその根拠を明確にして書いている。  ・自分と異なる立場の意見を踏まえて書いている。  ・互いの主張や表現の仕方について意見を交流して、自分の考えを広げている。 | | |

振り返り（成果や課題）・形式を与えたことと、書き始めるまでの時間をとったことで比較的取り組みやすくなったが、自分で考えて書く力をつけていく点では課題が残されている。